

ト라마ネ協

会員事務所で模擬監査

行政監査・巡回指導に備え



トラック・マネジメント協会（瀬尾国大会長）は5月26日、第一名誠（瀬尾誠社長、名古屋市港区）を訪

て、会員同士がお互いの事例を参考にすることを、監査対象項目の処理や不明点への指摘に対する回答を準備。行政監査や適正化巡回指導に備えるのが狙い。

あいち経営

ドライバー

が点呼を受ける様子を

はじめ社

JR貨物モーターシフト説明会

鉄道輸送の仕組み紹介

日本貨物鉄道（JR貨物）モーターシフト説明会を21



日、同様の説明会を

「コンテナの位置情報をリアルタイムで把握できるのか」などの質問が出された。相模貨物駅や冷蔵コ

ンテナの位置情報は、盛岡貨物ターミナル駅（盛岡市）に向けて運行される海上コンテナ列車で、ISOリーフター（コンテナの位置情報をリアルタイムで把握できるのか）などの質問が出された。相模貨物駅や冷蔵コ

農産物の貯蔵実証実験

郵船ロジ専用コンテナ

郵船ロジステイクスは5月26日、グループが茨城県から委託を受け、専用コンテナを活用して農産物の貯蔵実験を行った。と、鮮度を保持できるか調べた。温度と空気濃度を調整することで、青果物貯蔵時間を延長できる「CAコンテナ」にメロ大根など20品目の農産物を混載。東アジア



2トン、4トン部門で実施する。（高橋朋

物流不動産の新規開発プロジェクトが、一向にベスタウンする気配を見せない。今のところは供給サイドの強気の姿勢が奏功し、貸し手側がマーケットを主導しているように映る。一方、最新鋭の施設が市場に相次ぎ投入されている中、既存の物流倉庫が埋まっている状況に首をかしげる向きも少なくない。物流不動産の仲介事業を展開するディールエージェンツ（東京都千代田区）の榎西一太社長（43）に、現状を踏まえた近未来の「予想図」を描いてもらった。（沢田顕嗣）

1年後、遅くとも2年後には、賃料を下げざるを得ない物件が目立ち始めるだろう。これは首都圏に限った話ではない。関西圏も同様

と九州は物件の数が不足している。貸し手側が優位かも知れない。最近の賃料相場動向

を解説して欲しい。半年余り目立った変化は無い。1カ月の賃料は、千葉県市川市など湾岸エリア

が3・3平方メートルあたり4千円、川崎港を擁する川崎市は4千円、中野区、内

原の両市も4千円、台中盤で、千葉と埼玉の両県の国道16号沿線は3千円、台中盤

相場は現在が天井と判断して差し支えないか。

原の両市も4千円、台中盤で、千葉と埼玉の両県の国道16号沿線は3千円、台中盤

相場は現在が天井と判断して差し支えないか。

関東の需要が市場けん引

1・2年後下がる物件も

ディールエージェンツ社長 榎西 一太氏



関東は15年後半から16年にかけて100平方メートル165万平方メートルのスペースが新たに供給されると言われている。17年も同程度のスケールで推移するだろう。その

先は土地が放出されるか否かによる。関西は向こう3、5年のうちに300平方メートルが供給される見通しだが、今後も関東の需要が市場をけん引する構図は変わら

らない。需要は関東を10とした場合、関西が3、中京と九州は0・5〜1の比率ではないか。

借り手側へのアドバースを。当社のお客さまには貸し手と借り手の双方がいるので、大きな声では言いづらいところもある。ただ、かなりの確率で1・2年後に賃料が下がる物件が出てくるのではないかと。1フロア当たりの床面積が小さい多層階の施設は、時代のニーズに逆行している。人手の確保が難しいエリアの施設も苦戦を強いられるだろう。ボックスタイプが散見されるものの、ランブウェイ方式がベストなのは間違いない。緊急を要しないのであれば1・2年は様子見という選択肢もある。

また、コンテストに先駆けて、ドライバー意見交換会を初めて開催。各地域で実施の安全活動の例や教育方法を共有し、互見識を広げた。同社は「も、こうしたを通して安全に対する意識層向上させ、安全・確実流を実現したい」とし

シロース アップ

リコーロジステイクス（若松勝久社長、東品川区）は5月27日、「第3回ドライバーコンテスト」を23日に開催したと発表した。全国選出されたドライバー16人が安全運転技術や知識を競った。初めて開かれた意見交換会で各地域で実践している安全活動について理解

コンテストは2トン、4トン部門で実施。知識などに関する筆記試験、運転技術、車両の3分野で総合力を競い、それぞれ上位3人

また、コンテストに先駆けて、ドライバー意見交換会を初めて開催。各地域で実施の安全活動の例や教育方法を共有し、互見識を広げた。同社は「も、こうしたを通して安全に対する意識層向上させ、安全・確実流を実現したい」とし